

朝日中学校だより

笑顔あふれるあたたかい学校

令和3年12月14日発行



【教育目標】 進んで学び 豊かな心をもった たくましい生徒

「笑顔とあいさつ」

校長 木ノ瀬隆幸

師走に入りました。新型コロナウイルスの新たな変異株の感染者が日本にも現れました。今後も感染症対策を徹底してまいります。保護者の皆様、地域の皆様も慌ただしい時期ですが、健康にはご留意ください。以下に12月の全校朝会の内容をお伝えします。

11月24日(水)の朝、主に東北地方の山沿いで、降雪と激しい風が吹きました。横殴りの雨の中、体育館入り口で少し雨宿りをしていた私に、自家用車で送ってもらった生徒が、笑顔で声をかけてくれました。「おはようございます。校長先生、今日は立たなくてもよいのではないですか？」彼女は、私が生徒の登校時間に横断歩道前に立っていることを知っています。春から何回か、校門前で話をしました。この激しい雨で私のことを気遣ってくれた一言に、私はとても温かい気持ちになりました。

みなさんは「心のオアシスづくり」という運動を知っていますか。日本語の美しいあいさつを広げようという運動です。オアシスの「オ」は「おはようございます」、「ア」は「ありがとうございます」、「シ」は「失礼します」、「ス」は「すみません」です。あいさつは「心の鏡」だとも言われます。心がくもっていれば元気のないあいさつになります。心が閉じていればあいさつはできません。あいさつはその時々自分を映す「心の鏡」と言えます。この4つを基本に、その場に応じたあいさつができる人は素敵だと思います。また、あいさつには、校門前で話した彼女のように「心遣い」や「思いやり」が態度や行動に表れることがあります。「心」は誰にも見えないけれど、「心遣い」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」は誰にでも見えるそうです。友達が困っているときに、助けたり、相談に乗ったりする、そういう心遣いや思いやりが自然と笑顔でできる人はとても魅力的です。反対に、人の失敗や気にしていることを笑ったり、人を不愉快にさせたりする行動や態度は改めたいものです。

生徒会役員選挙の立会演説会に向けて、立候補者が大きな声であいさつをしていました。また、応援委員会のあいさつ運動や、規律委員会の授業の際のあいさつ運動も行われています。誰もが楽しく過ごすことができる第一歩として、あいさつはかせないものの一つです。当校の生徒は、高等学校の面接試験等で、自分の学校を「あいさつのよい学校」と紹介しています。ここに皆さんの笑顔が加われば鬼に金棒です。

12月4日～12月10日は人権週間です。法務省が定めた今年の活動重点目標は「誰かのこと じゃない」がキャッチフレーズです。一人ひとりが生まれた時から持っている、「自分らしく生きる」権利である人権が尊重される社会の実現に向けて、何事も自分事として、自分の周りの身近なことから始めて、行動に移すみなさんであってほしいと思います。



朝日中学校では、日々の取組をホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。
ホームページアドレス <http://asahi-j.murakami.ed.jp/>



いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました 11月12日（金）

1・2年生と3つの小学校6年生が本校体育館に集い、いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。千葉大学で作成されたビデオを事前に各校で視聴し、それをもとに、「アルファトーク」という架空のSNS上のトラブルに対して、いじめをやめるように書込みをするか、しないかの2択から、自分の立場を選び、その理由を付箋に書いて集会に臨みました。



映像を確認した後、25のグループに分かれて協議を行いました。中学生が話し合いをリードし、様々な考えを伝え合い、ホワイトボードにまとめました。出身小学校区ごとのグループでの交流により、話し合いはとても和やかに進みました。



最後に、再度全体で集まり、代表して3つのグループから話し合いの内容が紹介され、4名の児童生徒が感想を述べました。また、話し合いがとてもスムーズに進んだため、全員でレクリエーションも行い、笑顔で過ごすことができました。

今日学んだことを各校でぜひ広めてください。今後も朝日地区の児童・生徒は、「私はいじめを見逃さない」という気持ちを、黄色いリボンを胸に付けることで表現していきます。

3年生進路説明会を実施しました 11月22日（月）

6時間目に3年生進路説明会を実施しました。公立高等学校と私立高等学校の入試に向けた手続等について、学年主任の本間先生が説明をしました。3年生の生徒は、これまでよりも一層真剣な眼差しで説明を聴いていました。



また、夜には保護者向けの説明会も実施しました。入試に向けた手続のを中心、この時期の子どもにどう関わるとよいか（信頼関係、学習環境、言葉かけ等）等についてもお伝えしました。これからの時期、お子さんの進路実現に向けて、親子でじっくりと話し合う時間をもっていただきたいと思います。

「かしこい消費生活」についてお聴きしました

3年生出前講座 11月29日（水）

村上市市民課生活人権室主催の3年生向けの出前講座を行いました。担当の田沢様から、「中学生の消費生活」と題して、お話をお聴きしました。



令和3年度 学校運営方針 ～自律する力と思いやりの心を育てる～



商品が発火して事故が生じた場合の対応の仕方について、一人の意見が積み重なって、社会を変えた例を紹介していただきました。消費者にとっての8つの権利と、5つの責任という新たな視点は、SDGsの17の目標も含めて、これからの社会を大きく変えるきっかけになりそうです。ありがとうございました。

人権教育、同和教育の授業を公開しました 12月2日（木）

朝日地区小中連携事業の一つとして、人権教育、同和教育の授業を全クラスで公開しました。3つの小学校の教職員からそれぞれ参観していただき、研修を深めました。授業には、すべての人の人権が尊重される社会の実現を目指して作られた中学生向け教材、「生きるⅣ」（新潟県同和教育研究協議会）を使用しました。



した。

3年生の教材は、被差別部落出身の男性との結婚を両親に反対された女性が、男性と話し合って両親を説得し、道を切り開いていく話です。授業で出された意見や感想から、3年生は自分の将来のこととしてしっかりと考えている様子がうかがえました。ご家庭でも話題にしていただけたらありがたいです。



12月4日（土）～12月10日（金）は人権週間でした。私たちのまわりにはたくさんの人権問題があります。朝日中学校の生徒も職員も、できることから一つずつ、行動に移していきたいものです。

中部フィルハーモニー交響楽団オーケストラ公演を鑑賞しました 12月6日（月）

村上市総合文化会館にて、愛知県小牧市を本拠地に活動されている、中部フィルハーモニー交響楽団、約60名の皆さんによるオーケストラ公演を鑑賞しました。これは昨年度、文化庁「文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業」に申込みをして実現したものです。



約1時間半の公演は、あっという間の時間でした。演奏者の皆さんの表情や動きを間近に見ながら素晴らしい演奏を聴き、客席の全員が魅了されました。また、生徒の指揮者体験や、演奏曲に合わせた詩の朗読のコーナー、さらにアンコールでは、「朝日中学校校歌」のオーケストラ版の演奏を聴かせていただきました。



本物のオーケストラの生の演奏に触れ、目で見、耳で聴き、心で感じ、豊かな気持ちになったひとときでした。

最後に、公演を企画し、素晴らしい演奏を聴かせてくださった中部フィルの皆さんにみんなで感謝の拍手を送り、鑑賞を終えました。たいへん貴重な機会をありがとうございました。

職員随想「私の随想録」第3回

10月より、「私の随想録」と題し、執筆担当職員の身近な話題、趣味や関心事、継続して取り組んでいること等、自由で個性ある内容をお届けしています。

「師走（しわす）」とは？

渡邊 勇太

今年もあっという間に終わりを迎えますね。ところで皆さんは、「12月」と言われたら、どんなイメージを思い浮かべますか？ 長かった2学期が終わりを迎え、クリスマスや大晦日がやってくる「うれしい月」というイメージでしょうか？ それとも、雪が降って寒さもいっそう高まり、仕事をしている方は書き入れ時と言われたり、繁忙期を迎えたりする「つらい月」というイメージでしょうか？

どうやら昔の人たちも「12月」は、いろんな思いを馳せていたようです。12月を旧暦では「師走（しわす）」と言います。皆さんも一度は耳にしたことがあると思いますが、旧暦は「～月」という呼称がほとんどです。「師走」はなぜ、「～月」ではない独特な呼び名なののでしょうか？

調べてみると、「師走」の由来は諸説ありますが、僧侶のような普段落ち着いている人でも、この月は多忙で走り回るようになるということから、「師（僧侶）が走（はしる）」で「師走」と名付けられたそうです。毎年年末に仏さまや菩薩（ぼさつ）の名を唱え、その年にしてしまった様々な罪に懺悔（ざんげ）し、身も心もきれいになるように祈念する「仏名会（ぶつみょうえ）」という法要があります。一般の方も法要に参加できますが、参加できない人たちにかわって、僧侶があちこちの寺院を駆け巡って法要を行っていたそうです。

やはり昔の人たちも今と同じように、その1年の最後の月を「大事な月」として捉えていたんですね。

ちなみに私にとっての12月は、「誕生月」です。昔は早く歳をとりたいと思った「待ち遠しい月」でしたが、今では歳をとることがあっという間に感じる「せわしい月」となっていました。私の気持ちもまさに「師走」のようです。

